

## 【夏季の大会運営での安全対策】

夏季の大会開催については、コロナウイルスの感染リスクを最小化する観点から、選手関係者の安全を最優先し、実施の可否について地域ごとに慎重に判断して実施または中止・延期の判断をお願いいたします。

夏季の大会実施にあたっては、熱中症対策を十分に行うとともに、緊急事態のための体制・設備・備品を備えることが重要です。

1.ベンチを含む十分なスペースにテント等を設置し、日射を遮る。

※ 全選手/スタッフが同時に入り、かつ氷や飲料等を置けるスペースを確保する。

※ スタジアム等に備え付けの屋根が透明のベンチは、日射を遮れず風通しも悪いため使用不可。

※ 人工芝ピッチに屋根がない場合は、必ず日射を遮るテント等を設置する。

2. レフリーや運営スタッフ用、緊急対応用に、氷・スポーツドリンク・経口補水液を十分に準備する。

3. 熱中症対応が可能な救急病院を準備する。特に夜間は宿直医による対応の可否を確認する。

4. ウォーターブレイク(給水)の準備をする。

5. 会場に医師、看護師、BLS（一次救命処置）資格保持者等を常駐させる。

6. 前後半1回ずつ、それぞれの半分の時間が経過した頃に3分間程度のウォーターブレイクを設け、熱ストレスのチェック、身体の冷却、水分補給を行う。7人制についてはハーフタイムの延長を考慮する。

7. 暑熱環境に応じて（WBGT 値 “Wet Bulb Globe Temperature = 湿球黒球温度” などをもとに）大会主催者は以下を許可すること

※ 日影にあるベンチに入り、休む。

※ 氷・アイスパック等でカラダ(頸部・脇下・鼠径部)を冷やし、必要に応じ着替えをする。

※ 水だけでなくスポーツドリンク等を飲む。

8. ロッカールームでエアコンまたは扇風機（または団扇）を使用する。

9.大会に備え EAP（緊急時対応計画）を作成しておく。

EAP とは、事故や災害発生時などの予定外の緊急時に際して、各組織、チームがその場で対応するために予め想定した行動計画のことです。チームラグビー関係者全員が情報を共有し、緊急時対応計画を周知徹底することにより、よりスムーズな対応を図ることが重要です。JRFU では、EAP 作成のためのひな形/テンプレートを用意しています。

日本ラグビーフットボール協会ホームページ 「安全対策」

<https://www.jrfuplayerwelfare.com/>